

## ストリングについて

ストリングは弓の性能を考えたとき重要な項目になる。物の割には高価な消耗品だろう。過去から現在まで色々な材質が開発されてきたが実際の使用感は使ってみないとわからない部分があり、変更するにはタイミングが必要な項目でもある。色がついてある商品は実際経験したものであるため雑感をいれて紹介してみます。ストリングの素材は素材の原糸を数百本まとめてワックスでまとめて使いやすい太さの糸にしたものを使用します。

ストリングを変更する又は選択するときの要件を考えて決めましょう。

- 1、自作する場合の作りやすさ ストランド数やワックスについて
- 2、取り扱いやすさ ワックスや実装時の伸び
- 3、リリース感覚と矢速 ストランド数や軽さと強度
- 4、耐久性と製品寿命
- 5、そのほか 色やサービングおよび弓との相性

### RC使用感

- 1、ダクロン どんどん伸びる 初心者しか使えない 安定性がない。
  - 2、ファーストフライト 弓につけて時間がたつとゆっくり伸びるがはずすと次の日にはまた縮む。この繰り返し、時間で変化。
  - 3、ダイニーマ 弓につけて短時間は伸びるがしばらくすると安定する。毎日その繰り返し。
  - 4、ダイナフライト 製作時の伸び(ばらつきの安定化)を過ぎれば、ほとんど伸びない。
- ダイナフライトが発売されるまではストリングをよっているのは伸びるリストリングに対してストリングの長さをあわせるための方法だと考える。その結果がやわらかくなることや切れにくくなることを言うわけで基本的には安定しているならあまり燃る必要はないがその他のストリング素材は伸びるので仕方がなく燃ることで長さを調整している。これはハイトを調整するために必要な作業でもある。だから正確に長さが製作できて伸びないストリングなら燃ることは必要条件で絶対条件ではないと考える。アラミド繊維系以外は耐久性が長くほとんど劣化しても切れることはないがやはりばね定数というか劣化するものがあり飛び(初速)が悪くなるので意識的に交換する必要もある。

名称1	名称2	素材	素繊維の重さ	メーカー設定	販売店設定	重さ(FT/LB)	ワックス	
ファーストフライト	FAST Flight	ポリエチレン繊維	1300			18	WAX	ワックスが20% 高分子ポリエチレンの橋が
ダイナフライト97	DynaFLIGHT 97	ポリエチレン繊維		16	14	6700	WAX	伸びが少ない ダイニーマSK75繊維
450 Plus	450 Plus & 452	ポリエチレン繊維		12		4500	WAX	の混成 CP用に伸びにくいケブラー繊維をミックス
ダイニーマ02	Dyneema 02	ポリエチレン繊維		14		7300	WAX	ワックスが少ない
フォーミュラ8125	Formula 8125	ポリエチレン繊維		18	18	8200	WAX	ダイニーマの改良型 ダイニーマSK75繊維 ファーストフライトと同じくらいのストランド
452X	452X	ポリエチレン繊維		22		8800	WAX	ストランドが細い450プラス
テクミロン		ポリエチレン繊維	2000				WAX	現在非売品
D75	D75	ポリエチレン繊維				16	WAX	伸びが少ない ダイニーマSK75繊維
ケブラー29		アラミド繊維					WAX	切れやすいので現在あまり使用していない
ブローネル		アラミド繊維	1500-3000				WAX	切れやすいので現在あまり使用していない
ベクトロン		アラミド繊維					WAX	ブローネルの改良型
B - ダクロン	B500	ポリエステル繊維	2000	16		4300	WAX	やわらかいので初心者向け 伸びやすいので安定性がない
テトロン		ポリエステル繊維	2000				WAX	やわらかいので初心者向け 伸びやすいので安定性がない